
所 属 : 芸術学部 デザイン工芸学科 現代表現領域

職・氏名 : 講 師 古堅 太郎

U R L : www.tarofurukata.com

研究キーワード : 現代美術、インスタレーション、アートプロジェクト、国際交流、地域おこし、地域活性化、広島、ドイツ

■研究テーマ

現代美術を中心としたアートプロジェクトによる地域活性化ならびに国際交流

概要 : 離島や過疎地域において遊休施設を再活用し、国内外の現代美術の展示やワークショップなどを開催します。

■研究テーマの応用例

少子高齢化などにより遊休施設となった廃校などの建物を再活用し、国内や海外のアーティストを招聘し作品制作や滞在制作などを行います。若いアーティストを中心に制作場所や環境を提供することにより地域活性化を促します。

■主な著書、発表論文

①「CAMP ベルリンにおける国際交流、移住するアートプロジェクト」2009年3月

広島市立大学芸術学部芸術学研究科紀要 第14号、29-33項、国際的なアートプロジェクトにおける、国際交流の分析と評価。

②「CAMP ベルリン - ヒロシマ - 現代美術移住プロジェクト」2009年7月

広島アートプロジェクト2008 汽水域、136-141項、広島アートプロジェクト実行委員会、国際的なアートプロジェクトにおける、国際交流の分析と評価。

③「1945年から1970年の日本美術史 - 美術的反映の為の素材として - (原題: Japanische Kunstgeschichte von 1945 bis 1970 - Material für eine künstlerische Reflexion)」2009年7月、

ベルリン・ヴァイセンゼー美術大学卒業論文、全39頁、終戦の1945年を起点に1970年までの日本美術史を社会的背景とともに考察。その時代の代表的な作品や美術運動を取り上げ、戦後の経済復興や日本の政治状況などとの関連を示唆しながら、社会史の一部としての美術史を試みています。

④「CAMP ヒロシマにおける国際交流、移住するアートプロジェクト」2010年3月

広島市立大学芸術学部芸術学研究科紀要 第15号、23-26項、国際的なアートプロジェクトにおける、国際交流の分析と評価。

■想定される連携先

- ・民間企業
- ・地域団体
- ・地方自治体
- ・公的研究機関
- ・教育機関
- ・NPO/NGO